



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-201 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題	「私たちは変えられる」 “Yes,we can change.”
アジア地域会長主題	「アクション」 “Action”
西日本区理事主題	「未来に残すべきものを守り育てる」 “Let's Protect and Cultivate What Should Be Passed on to the Future.”
中部部長主題	「ワイズ総活躍中部」
金沢クラブ会長主題	「語り合おう 伝え合おう 楽しいワイズライフを」

2019

2 月間強調

TOF CS FF

今月の聖句 (数澤輝夫君)

あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。光の子として歩みなさい。 — 光から、あらゆる善意と正義と真実とが生じるのです。 —
 エフェソの信徒への手紙 5章8節～9節

2月強調月間

あなたの思いやりが人を助け、命を救い、環境を守ります。各種献金にご協力ください。
 倉 卓也地域奉仕・環境事業主任
 (京都トップスクラブ)

1月 クラブ活動状況

第1例会 (1月17日 Thu.)

メン：朝倉、伊藤、数澤、幸正、西、山内 (6名)
 功労会員：澁谷 (1名)
 出席率 100% 充足率 183%
 メネット：朝倉、数澤 (2名)
 ゲスト：北村さん、北村君 (2名)

第2例会 (1月5日 Sat.)

メン：朝倉、伊藤、数澤、幸正、山内 (5名)
 メネット：数澤、朝倉 (2名)

ニコニコタイム

クラブファンド 累計 9,000円
 80,000円

BFポイント

切手 370g 累計 690g
 現金 0円 累計 0円

2月例会 プログラム

とき	2019年2月21日 (Thu.) 18:30~20:30
ところ	金沢ニューグランドホテル
会費	¥3,000 (会員は無料) ¥2,000 (メネット)
	司会 山内ミハルさん
開会・点鐘	幸正一誠会長
主 題	司 会 者
ワイズソング	一 同
今月の聖句	数澤輝夫君
ハッピー・ハーベストデー	幸正一誠会長
食前の感謝	山内ミハルさん
切手整理	
委員会報告	各 委 員
ニコニコタイム	伊藤仁信君
YMCAの歌	一 同
閉会・点鐘	幸正一誠会長

会 長	幸正一誠	書 記	西 信之
副会長	数澤輝夫		山内ミハル
	伊藤仁信	会 計	朝倉みゆき
		メネット会長	数澤淑子

第一例会：毎月第三木曜日 18:30~20:30
 金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311
 第二例会：毎月1日 18:30~20:00
 金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

金沢クラブのDBCである滋賀蒲生野ワイズメンズクラブの会長 岡村 遍導様に寄稿をお願いしたところ、御快諾いただきました。感謝して掲載させていただきます。



「奉仕の理想」

滋賀蒲生野ワイズメンズクラブ

会長 岡村 遍導

平素は当クラブの活動にご理解、ご協力いただいておりますこと心から感謝申

し上げます。時の流れは早いものでもう前半を終え年度も後半へと入りました。「光陰惜しむべし」という言葉がございしますが一息一息真心を込めて、偶然にもいただいた命を大切に、またワイズメンとして奉仕活動と自己研鑽に励まなければならぬと反省させられます。

私は仏教の僧侶で、信長が城を築いた町、安土町、湖東平野に優しく横たわる織山山頂の観音正寺という寺の住職をさせていただいております。観音正寺は今から1400年前聖徳太子によって開かれた寺で、日本最古の巡礼信仰、西国三十三所観音霊場の第三十二番札所として今まで法脈が受け継がれてまいりました。しかし、平成5年5月に本堂、秘仏の御本尊を焼失。一夜にして一番大切な伽藍が灰燼と帰りました。その後、御本尊、本堂の再建を願い、父である前住職が総白檀の御本尊の彫像を発願されました。白檀？その木はどこに？と色々調べ「老山白檀」が最も貴重であることがわかりました。老山、つまりインド・マイソール産の白檀のことをいい、インドの白檀で観世音菩薩を彫像しようとなったのです。白檀はインド国でさえ貴重な香木で輸出禁止品目にもなっており、インド国内から外国に輸出する事は出来ません。しかし、復興を願い、直接インド政府に懇願しようと初めてパスポートを取得し、父に代わってインドへと渡りました。結果白檀はインド政府が初めて正式に許可し、日本に輸入され今の御本尊がお生まれになられたのですが、仏教徒として仏教の母なる国へあこがれて行ったものの、貧富の差に心が折れる程衝撃を受けました。特に極貧に苦しむ子ども達の姿は今でも忘れる事が出来ません。それから、インドや世界の国々で苦しむ子供達へ、夢

を実現することができるギフトを贈りたいと願いご縁のある国際クラブにて活動をしてまいりました。ワイズメンズクラブでの活動では、我が国は豊かそうに見えてはおりますが苦しむ子ども達は年々増加しております。そこで、今年度は我がクラブで新しい事業として昨年の12月に滋賀県で初めて設立されました「子ども食堂」にてWMCAのリーダーにもご協力いただき、クリスマス会を開催させていただきました。小さな、ささやかな事業かもしれませんが子ども達に良き思い出がプレゼントできたことと思います。その小さな思い出が、きっとこれから先に待っている苦しみや、悲しみに耐え得る力になってくれることを祈っております。事業、資金の規模が大きい事だけが奉仕活動ではなく、ささやかな、真心のこもった奉仕活動ができる事が、ワイズメンズクラブの大切なところであるかと思

す。国、人種、宗教をこえて、人々の幸せを願い、これからも活動してまいりたく考えております。

1月例会卓話「日本の歴史は1万年以上前に遡る」

西 信之

以前、国立博物館で開催された特別展「縄文：1万年の美の鼓動」について紹介したが、今回の卓話では、少し具体的な遺跡や発掘物を中心に私たちが今当たり前とと思っている生活必需品を、既に1万年以上前から使っていたことをお伝えした。特に6千年前の北陸の気温は今よりかなり高く、海面が今より2～3m高くなっており（縄文海進）、海の幸・山の幸に恵まれたパラダイスであったようだ。



しかし、9千年から1万年前は逆に気温が低く、南九州の鹿児島島の国分近くにある上野原遺跡では、縄文土器に特有の広口型土器ばかりで無く弥生式土器に近い開口部が狭くなった壺型土器が多数見つかっており、縄文人が温かい地域に移住していたことが判る。良く

知られている青森の三内丸山遺跡や函館の大船遺跡では、多数の住居跡が出土している。これらは温かくなった5千5百～4千年前の遺跡で、中央にかまど跡を持ち周りに大きな掘立柱を配した大型住居跡が見ついている。この段階で、高度な建築技術で作られた大集落として村が存在し、丸木舟を使った数百キロにわたる航海による貿易が行われていたという証拠も出て来た。村人は栗を栽培し長期にわたって栗を主食とし、直ぐ下の海岸では丸木舟を使った漁業が行われていた。大船遺跡では鯨の骨が、能登の真脇遺跡からは大量のイルカの骨が出ている。真脇遺跡では、イルカの脂を燃やして明かりとして使った持ち手付きの燭台が出土している。また、土鍋のふたや火焰式土器の原型と言われている鳥鉢式土器も多数見つかり、当時の生活が如何に恵まれていたかが良く判る。

北陸では、約1万年前の福井県鳥浜貝塚からは、赤・黒の漆で幾何学文様を描いた彩漆土器や赤彩が施されている浅鉢形土器などが出土している。漆が1万年前から使われていたのは驚くべき発見であるが、小矢部市の桜町遺跡からは、赤漆塗りの木製椀が出土している。既に4千年以上前から現在の北陸で製作されている木製漆塗りの椀が使われていたことは、当時の人達の先進性が覗かれる。

金沢にもチカモリ遺跡や御経塚遺跡といった縄文文化の名残が残っているが、これらは縄文後期の遺跡で環状柱列や住居跡が見ついている。

日本海側最大の貝塚遺跡で呉羽丘陵と射水平野の接点に位置する富山の小竹貝塚からは、91体の人骨が出土しており、そのうちの1体を元に復元された頭部は掘りが深く少しつり上がった大きな目と長面の顔立ちであった。この近くにも幾つかの縄文遺跡が存在することから、金沢クラブで見学に行ってはどうかという提案がなされた。

百聞は一見に如かず、では是非これを実現したい。



金沢ワイズメンズクラブ新年会に参加して

前田 勝紀

新年会は1月24日（金）午後6時30分から、木倉町の「囲炉裏 竜」で12名参加して行われた。メンバーは朝倉メン・メネット、伊藤メン、数澤メン・メネット、幸正メン、西メン、山内メンの他、ゲストの前田氏、吉川さん、北村さんと高校生の北村君も参加。



会計の朝倉みゆきさんから、笑いながらの第一声、「他の会のことですが、私のお金の管理が厳しいと言われましたが、本日も明朝会計でいきます。乾杯以外に追加の飲み物を欲しい人は、会計の私に申告してから飲んでください。追加は6杯まで杯を造ってあります。あとで1杯につき500円頂きます」という話から宴会ムードになる。

料理長は料亭「浜町」で魚を扱っていただけに魚を知り尽くしていて、鮮度だけでなく、丁度刺身に甘みの出る食べ頃のタイミングで提供している、憎いくらいの気配りに驚く。

最近、鯖が健康食品として巷で注目されているが、久し振りで炭火・金網で焼く鯖も焼いた時の仕上がり具合まで見越して調理し、旨みが出るまで寝かしていることに敬服、脂ののった鯖、これこそ舌鼓を打つというのにピッタリ。

飲むほどに酔うほどに熟年軍団の軽妙な話に時計がまわり、「カリフラワーって・・・あアそうだ、頭が大仏さんの髪みたいな野菜」「日頃お淑やかな方が、ハンドルを握ると別人のように戦闘ムードになる」……。程よく酒がまわり、普段無口（六口）な朝倉さんが酔うほどに名前前の「みゆき」の由来から、結婚に至るまでの半生記がたられ、その話し方に爆笑の連続。次に飲む機会があれば是非ともその続きを期待したい。

「♫」の雑炊は大鍋で炊いたものらしく、吟味した食材に火加減も申し分なく、どの鍋も空になったほど好評。

酔った弾みかそれとも計画通りか、幸正会長が8月に羽咋の鰻を食べさすからと羽咋に招待を約束された。油ののった呂知瀉の天然鰻にお目にかかれる事になった。能登には八つ目鰻もいるので是非試食したい。



~~~~~お知らせ~~~~~

☆2月例会のお知らせ

日時：2019年2月17日（木）18：30

内容：古切手の整理

持ち物：ハサミ 古切手

☆とやまクラブ設立総会

日時：2019年2月10日（日）16：00～20：30

15：30 受付

16：00 設立総会・懇親会

場所：とやま自遊館

富山市湊入船町9-1

TEL 076-444-2100

会費：9,000円（宿泊込 15,000円 シングル）

参加予定：朝倉、伊藤、数澤、数澤妹、幸正、山内

☆献金について

西日本区へ送金のため下記の献金を集めます。2月例会にお持ちください。

C S（地域奉仕・環境事業） 1,500円

B F（国際・交流事業） 1,500円

☆ピンクシャツデイについて

YMCAでは2月最終水曜日をピンクシャツデーとして、いじめ反対運動に取り組んでいます。（詳細は下記YMCAからのお知らせをご覧ください。）今年2月27日（水）がその日に当たります。

金沢ワイズメンズクラブでは2月27日の活動に参加

はできませんから、第1例会（2月21日）に、昨年そろえたピンクシャツを着用したいと思います。ご協力をお願いします。

~~~~~ YMCAからのお知らせ ~~~~~

☆金沢YMCA スキー教室2019

日時：2019年2月16日（土）

開催場所：白山一里野スキー場

集合場所：北陸学院大学国際交流センター（三小牛）

集合時間：08：00

解散場所：北陸学院大学国際交流センター（三小牛）

解散時間：17：00

参加費：9,000円（この中には指導料、保険料、貸切りバス代、昼食代、お菓子、YMCA年会費が含まれますが、貸しスキー、貸しスキー靴、貸しストックなどは含まれていません。）

申し込み締切：2019年2月9日（土）

お問い合わせ：090-6539-5173（朝倉）までご連絡ください。

☆ピンクシャツデーについて

ピンクシャツデーは、カナダの学生2人から始まった「いじめ反対」運動です。

2007年のある日、ピンクのポロシャツを着て登校した少年が「ホモセクシャルだ」といじめられました。それを聞いた先輩2人が50枚のピンクシャツを購入、インターネットで「明日、一緒に学校でピンクのシャツを着よう」と呼びかけました。翌日学校では呼びかけに賛同した数百名の生徒がピンクのシャツや小物を身につけて登校。学校中がピンク色に染まり、いじめが自然となくなったそうです。

このエピソードは世界中に広まり、今では70か国以上でいじめに反対する活動が行われています。この出来事があった日が、2月の最終水曜日。それ以降、この日に私たちもピンクのシャツを着ることで、いじめについて考え、いじめられている人と連帯する思いを表す1日としています。

3月の担当

聖句担当：朝倉みゆきさん

ブリテン執筆：西 信之君

【お詫び】メネット報は次号に掲載します。